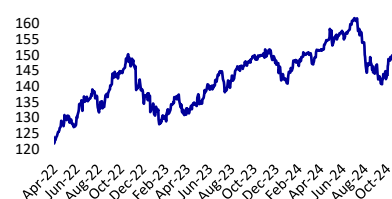


市場動向

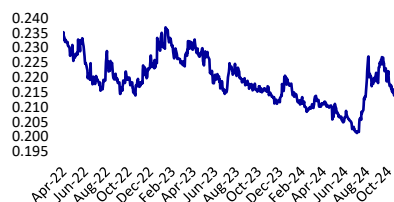
■USD/TWD



■USD/JPY



■JPY/TWD



■EUR/USD



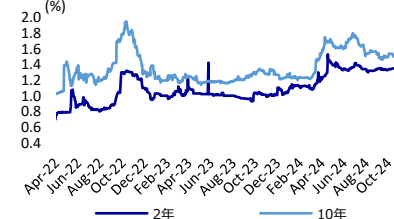
■USD/CNH



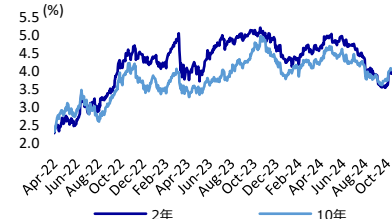
■台湾加権指数



■台湾国債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは下落。週初10/14は32.190でオープン後、日米ともに休場となる中、材料に乏しい展開となったが、地政学リスクへの懸念が高まり、台湾ドル売りが優勢な展開。10/15は台湾株が堅調に推移していたものの、海外投資資金送金が見られ、一時32.204まで上昇。10/16は、前日に米株が上値重く推移していたことを受けてリスクセンチメントが悪化する中、一時週高値32.235まで上昇。その後は輸出業者による外貨売りが見られたことでドルが売り戻され、32.175でクローズ。10/17は、特段の材料がない中、32.100後半で揉み合い推移。10/18、前日台湾積体回路製造が市場予想を上回る良い決算となったことを受け、外国人投資家による台湾株買いが見られたため、一気に32.045まで下落。最終的には前週比0.3%ドル安台湾ドル高の32.083で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は514.5億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は上昇。週初10/14は149.32でオープン後、日米ともに休場となる中、アジア時間は149円台前半で小動き。海外時間は、複数のFRB高官による利下げベースに慎重な発言を受けて150円手前まで上昇した。10/15、米金利低下に合わせて一時148円台後半まで下落。その後は、米10月NY連銀製造業景気指数の予想を大幅に下回る結果に軟化も影響は限定的。10/16、週安値の148.83円を付けた。海外時間は新規材料に欠ける中、149円台前半で推移後、米株高を好感して149円台後半まで上昇した。10/17、海外時間は米9月小売売上高を始め複数の米経済指標が強含んだことで米金利上昇と共に一気に150円台に乗り、8月1日以来の高値となる150.32円まで値を上げた。10/18、住宅着工件数が予想を下回り、ドル/円は下落した。最終的には前週比0.3%ドル高円安の149.53で先週の取引を終了。

今週の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：31.850-32.200

今週は上値の重い展開を見込む。売り買い交錯となるものの、台湾株の堅調推移したことに加え、月後半に向けた輸出企業のドル売り注文も予想され、やや台湾ドル高傾向となろう。

■USD/JPY 予想レンジ：148.00-150.80

今週のドル/円は底堅い展開を予想する。今月初めに発表された米9月雇用統計や先週発表された米9月小売売上高の好結果を受け、年内・来年の利下げ織り込みが後退する局面では、米金利は上昇し、ドル買い優勢の展開となろう。

今週の予定

10/21 (MON)	台9月輸出受注
10/22 (TUE)	
10/23 (WED)	米9月中古住宅販売件数、米ページブック、ユーロ圏10月消費者信頼感指数、台9月工業生産
10/24 (THU)	日10月製造業/非製造業PMI(速報)、米9月新築住宅販売件数、米10月製造業/非製造業PMI(速報)、台失業率
10/25 (FRI)	米9月耐久財受注(速報)

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。